

ちがさき

青少年指導員だより

茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会

.....
第25期 活動目標

- 青少年指導員は、子どもたちが明るく健やかに育つよう、よりよい情報を発信し、地域づくりに努める
 - 青少年指導員は、活動を通して地域の方々に理解してもらえるよう努める
 - 青少年指導員は、各種研修や協力事業に積極的に取り組み、資質向上に努める
-

青少年指導員連絡協議会は

◆ 創立50周年 ◆

を迎えました

「50周年を迎えて」

会長 松本 陽子

茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会は、今年度創立50周年を迎えました。これまでの活動にご支援とご尽力いただいたみなさまに感謝申し上げます。

この50年を振り返ると、高度経済成長期、バブル期を経て低迷期を迎えた経済の大きな変化は、人々の暮らしや家族の在り方、個人の価値観を大きく変えました。私たちの協議会も、その時代その時代のニーズに合わせて、部会の編成を変えながら活動してきました。このような大きな変化はありましたが、私たちの活動の原点は、昭和22年に発足した「児童愛護班」にあるのではないかと思います。戦後の混乱期に、自分たちの生活も大変な中、子どもたちの将来を考え活動した方々がいたことに大変感銘を覚えます。



青少年指導員はいつの時代も、次代を担う子どもたちの将来を考え、大切に育む人でありたいと思います。

----- <青少年指導員とは?> -----

「児童愛護班」（昭和22年）、「校外生活指導者」（昭和25年）を経て、「地区少年指導員」（昭和36年）制度の幅を広げ、昭和43年4月から「青少年指導員」となりました。

市内の青少年育成推進協議会（推進協）の会長に推薦され、県と市教育委員会より委嘱されています。市内19学区、各5名（計95名）の青少年指導員が地域の身近な存在として活動しています。

10月7日に創立50周年記念式典を行いました

【茅ヶ崎市役所 コミュニティホール】

前日から降っていた雨も朝方には上がり、心配だった空模様もひと安心。午前中は、役員・理事を中心に、舞台をつくるなど会場設営をしました。

受付開始から開会までの間、来場者には展示した青少年健全育成ポスターを見ていただきながら、ロゴマークの投票もお願いしました。

式典開始にあたり、オープニングとして25期指導員有志でミュージックベルを演奏しました。曲目は、「青い珊瑚礁・世界に一つだけの花・ヒーローテーション」のメドレーと、「見上げてごらん夜の星を」です。

開式のことばのあと、青指連松本会長よりあいさつ。続いてご来賓の紹介。

茅ヶ崎市 副市長	山崎正美 様
茅ヶ崎市教育委員会 教育長	神原 聡 様
茅ヶ崎市青少年育成推進連絡会議 会長	日下英彦 様
茅ヶ崎市子ども会連絡協議会 会長	須田 譲 様
茅ヶ崎市社会教育委員会議 議長	吉原弘子 様

以上の方々にご出席いただき、代表して山崎正美副市長と神原聡教育長にご祝辞を賜りました。なお、当日ご公務でご欠席の服部信明市長からはビデオメッセージをいただき、会場のみなさんに披露しました。

そして閉式のことばのあと、休憩をはさんで記念講演会へ。



〔神原聡教育長〕



〔服部信明市長（ビデオメッセージ）〕



〔ロゴマーク投票〕

記念イベント「茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会ロゴマーク発表」

創立50周年を記念して、茅ヶ崎市青少年指導員を広くアピールし、親しみを持っていただけるようなロゴマークを決めました。各学区で考えた作品を展示し、会場にいらして下さったみなさんの投票により決定いたしました。

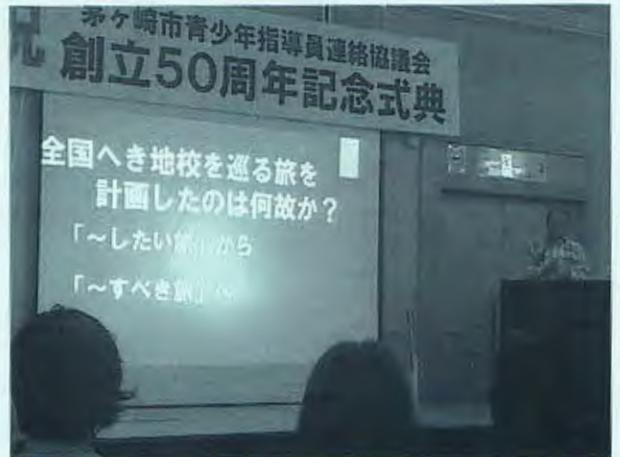


記念講演会

「世界は僕の教室」～日本一周へき地校バイクの旅～

記念式典に引き続き、コミュニティホールにて講師に西岡正樹氏（現：浜之郷小学校教諭）をお迎えして「世界は僕の教室」～日本一周へき地校バイクの旅～と題して講演会を行いました。

西岡氏は昭和51年から30年間、茅ヶ崎市内の小学校で教師を勤め、平成13年のオーストラリアを皮切りに、世界60数か国を旅してきました。その後、元教え子の一人から「“したい旅”ではなく“すべき旅”を考えて旅をしたらどうですか？」と提案されたことがきっかけで、へき地校を巡る旅を始めました。



へき地校の子どもたちとふれあう中で「郷土愛が子どもの自尊感情を高めることを知った」と語っています。また、へき地校で育つ子どもたちは、体力や対人スキルが不足しがちであり、地域住民との交流が大切なコミュニケーション能力のスキルアップとなっています。そのため「学校と地域が互いに必要としていて、関係が成り立っている」と話されていました。

地域で活動している青少年指導員にとって、大変興味深い講演会となりました。

【記念事業】

【茅ヶ崎市役所 市民ふれあいプラザ】

●青少年育成部会 【7月14日～21日】

50周年記念事業として「青少年健全育成ポスター展示」を開催しました。これまで制作したポスターを80点以上、一度に展示した様子は圧巻でした。ポスターの内容により、年代ごとに青少年を取り巻く環境が変わっていく様子があり、50周年記念事業にふさわしい、とても興味深く意味あるものとなりました。



●研修・事業部会 【7月18日】

ミュージックベルで「J-POP メドレー」「大きな古時計」「星に願いを」を演奏しました。ミュージックベルは日頃、様々なイベントで子どもたちに向けて発表したり、一緒に演奏したりしています。市民ふれあいプラザでの発表はとても緊張しましたが、ミュージックベルの透き通った音色が響き渡ると、耳を傾けてくださる方や、足を止めてくださる方、目の前のソファに腰かけて聴いてくださる方もいて、最後まで楽しんでいただきました。



学区の活動紹介

青少年指導員は、19の小学校区で学校や地域のみなさんと一緒にいろいろな活動をし、たくさん子どもたちとかわっています。



浜之郷学区
『郷の子
フェスティバル』
今年度は20周年記念行事として、神奈川県警察音楽隊をお招きして、演奏会・カラーガードで華やかに開催しました。



今宿学区 『クリスマス会』

小学生と地域の方と一緒にクリスマス会を開催。萩園中学校合唱部のクリスマスソングを聴き、折り紙でクリスマスカードを作って楽しみました。



鶴嶺学区
『つるみね
ふれあいデー』
めざせ！ちびっこ防災マスター！子どもたちは体験ブースを回り、楽しみながらも真剣に学びました。おいしい豚汁を食べ、温まりました。



梅田学区 『子ども大会』

今年度は「乃羽バレエ団」による公演会を開催しました。小・中学生の演技も加わって、みんなで楽しい時間を過ごしました。



円蔵学区 みんなで遊ぼう！ 『子ども大会』

初の試みとして取り入れた全員参加のゲームで、小・中学生と地域の大人が楽しく交流を深めることができました。



柳島学区 『子ども大会 in 柳島キャンプ場』

親子で火おこしを体験し、焼きマシュマロ・ゆでジャガイモを食べたり、松ぼっくりやどんぐりでクリスマスリースやオーナメントを作りました。



西浜学区 『子ども大会』 陶芸に挑戦！

一人300gの粘土の塊を使い自由に作品を制作、4色の釉薬（ゆうやく）の中から好きな色を選びました。後日、完成品が手元に届きました。



茅ヶ崎学区 『一中 Autumn 秋 コンサート』

第一中学校吹奏楽部・演劇部と太鼓や甚句を練習している子どもたちがステージを披露。楽器紹介もあり、盛り上がりました。



東海岸学区 子ども大会 『夏まつり』

毎年、子どもたちが楽しみにしている「夏まつり」を開催し、ゲームや模擬店などにたくさんの人が参加して地域の輪を広げることができました。





小学校区地図

香川学区

『遊ぼう！学ぼう！
ゲームステーション』
異年齢の班でディスクゲッター、工作、担架レース
防犯・防災クイズを体験。
昼は自分たちで豚汁と焼きおにぎりを作って食べました。



小出学区

子ども大会
『推進協まつり
～学ぶ・遊ぶ・食べる』
ペットボトルに模様を描いて空気砲を作り、的あてをしました。また、「葉書の羽根を飛ばしちゃおゲーム」で遊びました。



鶴が台学区

子ども大会
『あそびの広場』

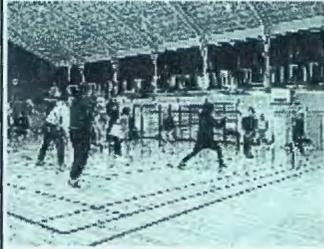
7種類のコーナーを設けて、子ども大会を実施しました。各コーナーでは、たくさん子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿が見られました。



室田学区

『ソフトバレーボール
交流会』

毎年恒例のスポーツイベント。近隣の小・中学校の先生方と地域の保護者の方が、笑顔もある白熱した試合で交流しました。



松林学区

みんなで健康
『ラジオ体操』

朝7時に地域の方と小学生が校庭に集まり、エアロビクスやボクササイズでウォーミングアップのあと、ラジオ体操を行いました。



小和田学区

子ども大会
『おもちゃづくり』

竹とんぼなどの昔ながらのおもちゃに加え、割り箸を使ったマジックハンドなども作り、地域の方々と楽しい時間を過ごしました。



浜須賀学区

子ども大会
『ビーチクリーン』

小・中学生、先生方と海まで歩いてゴミ拾い。また、チーム別ドッチビーで盛り上がりました。昼食は特製カレーを食べ楽しい一日となりました。



松浪学区

子ども大会
『ストラックアウト』

低学年から高学年まで多くの子どもたちが参加してくれました。10球を投げて的の文字板を何枚も打ち抜いて高得点をあげていました。



緑が浜学区

今年も盛況！
『みどりの子夏まつり』

模擬店や子ども大会、夜は校庭で映画鑑賞。今年は先生方による、“みどりん”の包装紙が可愛いハワイアンバーガーの模擬店も大好評でした。

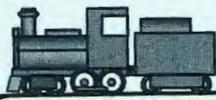


汐見台学区

『親子釣り大会』

今年は天候に恵まれ、早朝から釣竿を持った家族が汐小前の海岸に集合。魚が釣れると子どもたちの歓声が聞こえました。





4 月

- ・ 総会 4 月 8 日 茅ヶ崎市役所
- ・ 行政研修 4 月 8 日 茅ヶ崎市役所
講師：西多摩 PACE 主催 甲斐崎 博史氏
テーマ「子どもたちがひとつになる！アドベンチャープログラムのゲーム&アクティビティ」



5 月

- ・ 子どもの安全を守るキャンペーン
5 月 30 日
茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキ（啓発活動）

6 月

- ・ 湘南地区青少年指導員研修会 6 月 10 日
秦野市立本町公民館
講師：国際基督教大学 教養学部 専任講師 高橋 伸氏
テーマ：「レクゲーム指導法とニュースポーツ体験」



研修で紹介された「ラダーゲッター」。簡単で誰でも楽しめるニュースポーツです。

7 月

- ・ 茅ヶ崎・寒川犯罪ゼロ推進会議街頭キャンペーン
7 月 5 日 茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキ（啓発活動）
- ・ 社会を明るくする運動キャンペーン
7 月 7 日 茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキ（啓発活動）
- ・ 青少年健全育成を進める県民大会
7 月 8 日 小田原市民文化会館
- ・ 50 周年記念事業
青少年健全育成ポスター展示
7 月 14 日～21 日 茅ヶ崎市役所
ミュージックベル演奏
7 月 18 日 茅ヶ崎市役所
- ・ 青少年健全育成ポスター展示
7 月 22 日～24 日 イオン茅ヶ崎中央店



8 月

- ・ 指導員研修/全体会 8 月 1 日 青少年会館
研修・事業部会と理事の企画により指導員のスキルアップのため、昔遊び（ベーゴマ・けん玉・チェンリング）と工作をブースに分かれて行いました。ブースでは体験側と教える側を経験して交流が図れました。



工作で作ったペットボトルの「浮いて沈んで釣っちゃおゲーム」

割り箸と使用済み葉書の「葉書の羽根を飛ばしちゃおゲーム」



- ・ 子ども会交流事業（ドッチビー交流会）
8 月 22 日 総合体育館



遊び体験教室

7 月 26 日～27 日
秦野市表丹沢野外活動センター



茅ヶ崎市と秦野市の子どもたちが自然体験を通じて相互の親睦を図っています。



9月

- ・社会環境実態調査 7月～9月 市内所定の店舗
- ・自然体験教室①コース 9月23日～24日
YMCA三浦ふれあいの村

10月

- ・茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会
創立50周年記念式典 10月7日 茅ヶ崎市役所

11月

- ・市民ふれあいまつり 11月3日 茅ヶ崎市中央公園



ブースを出店してバルーンアートやポスター展示を行いました。

剣・犬・とびねずみを一緒に作って交流しました。形ができてくると子どもたちの目が輝き、喜んでいる姿を見ることができました。



- ・県青少年指導員大会 11月12日 川崎市高津市民館
- ・子どもの安全を守るキャンペーン 11月20日 茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキ (啓発活動)
- ・県立茅ヶ崎養護学校文化祭 きらめき祭 11月23日 県立茅ヶ崎養護学校



- ・青少年会館フェスタ 11月23日 青少年会館



ミュージックベルの体験

青少年指導員は一年を通して、たくさん活動しているぞよ!



12月

- ・社会環境健全化推進街頭キャンペーン
12月13日 ペDESTリアンデッキ (啓発活動)

1月

- ・成人のつどい 1月8日 総合体育館



- ・青少年育成のつどい 1月20日
茅ヶ崎市役所

3月

- ・子ども会ゲームセミナー 3月3日 茅ヶ崎市役所
- ・ちがさきスポーツ・レクリエーションフェスティバル
3月11日 総合体育館
- ・県50周年記念大会 3月11日
横浜みなとみらいホール
- ・総会 3月24日 茅ヶ崎市役所

2月

- ・自然体験教室②コース
2月17日～18日 柳島キャンプ場
- ・子ども会入門講座 2月20日
茅ヶ崎市役所



～ 有害図書回収累計記録 (9月～2月) ～ 毎月1回実施 茅ヶ崎駅南口 有害図書追放ポスト

有害図書			一般図書			総重量
雑誌・マンガ	文庫	DVD	雑誌・マンガ	文庫	DVD	
374冊	14冊	442枚	129冊	5冊	0枚	190kg

第35回茅ヶ崎市青少年育成のつどい

テーマ「青少年の育成を考える」

平成30年1月20日(土) 茅ヶ崎市役所分庁舎にて実施しました

「青少年育成のつどい」は、青少年の健全育成の大切さを広く市民のみなさんに理解していただくことを目的に、茅ヶ崎市からの委託により青少年指導員が企画し開催しています。

今年度は、小川泰平氏による「青少年の育成を考える」をテーマに、青少年犯罪の具体例を交えながらその防止についてわかりやすくお話していただきました。

日本で検挙される犯罪者の内、青少年が占める割合は1000人に5人で、世界的にみるとまだ少ないレベルだそうです。これを更に増やさないようにするためには、日頃の親子のコミュニケーションやルール作りが重要であると、改めて認識できました。

過去の例では、親が不在がちな寂しさから遊び仲間と過ごす時間が増え、仲間との軽い遊び感覚から、高齢者を狙った現金ひったくりを繰り返すまでにエスカレートし、犯罪者となってしまった少年がいたそうです。しかしこの少年は少年院退院後、賠償金の支払いのため苦労している親の姿を見て、自分のしてしまったことを悔やみ、今はしっかりと更生したとのこと。親子の関係がいかに青少年の犯罪に影響するかを痛感しました。

更に、犯罪を未然に防ぐためには、防犯の意識を高め、地域ぐるみで不審者に犯罪をさせないような環境づくりが重要であることも理解できました。例えば、連れ去り犯罪を感じさせるような子ども連れを見かけた場合、すれ違った後にもう一度振り返り「二度見」をすることで、犯罪者心理の「気づかれない」「見つからない」「捕まらない」という犯罪成功の条件を崩すことができるということです。

子どもたちが、明るく健やかに育つ地域づくりに必要な意識を高めることができた講演内容でした。



小川 泰平 氏

1961年愛媛県生まれ。
元警察官・コメンテーター・
犯罪ジャーナリスト。30年
の警察官経験からみる事
件や犯罪のコメントを論評
している。



来場された方々に
感想をいただきました。



- ・青少年を犯罪に走らせないためには、家庭や学校でのコミュニケーションが一番大事だと感じた。
- ・青少年犯罪は子どもだけの責任ではない。家庭環境の改善、支援が必要だと感じた。
- ・個々のルール(家庭、学校、社会など)をきちんと作ることが大切だと思った。
- ・大人が常に情報や知識を向上させる必要があるのではないかと考えた。
- ・中高生の青少年の犯罪は出来心からの万引きなどが多いと知りました。しかし更生して立派な大人に成長している人がほとんどだそうです。社会で彼らを見守る姿勢が新たな犯罪を抑制しているということが印象的でした。

ご意見ありがとうございました。

発行：茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会 松本陽子

編集：茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会 広報部会

問合せ先：茅ヶ崎市教育委員会青少年課 電話0467-82-1111 (内線3351・3352)